

全国学力・学習状況調査結果のお知らせ

令和4年4月19日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の調査結果をお知らせいたします。

《集計結果》

	国語	算数	理科
全国正答率	65.6%	63.2%	63.3%
神奈川県正答率	65%	64%	63%
中和田南小正答率	65%	63%	61%

《教科ごとの調査結果》

【国 語】

<話す・聞く>

◇必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉える。

<書くこと>

◇文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える。

<読むこと>

◇人物像や物語の全体像を具体的に想像する。

<言語事項>

◇話し言葉と書き言葉との違いを理解する。

◆学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

【算 数】

<数と計算>

◇被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる。

<図形>

◇示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる。

<変化と関係>

◇百分率で表された割合を分数で表すことができる。

◆数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。

<データの活用>

◇表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる。

【理 科】

<「エネルギー」を柱とする領域>

◇問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している。

<「粒子」を柱とする領域>

◇実験器具を理解し、正しい扱い方を身に付けている。

<「生命」を柱とする領域>

◇昆虫の体のつくりを理解している。

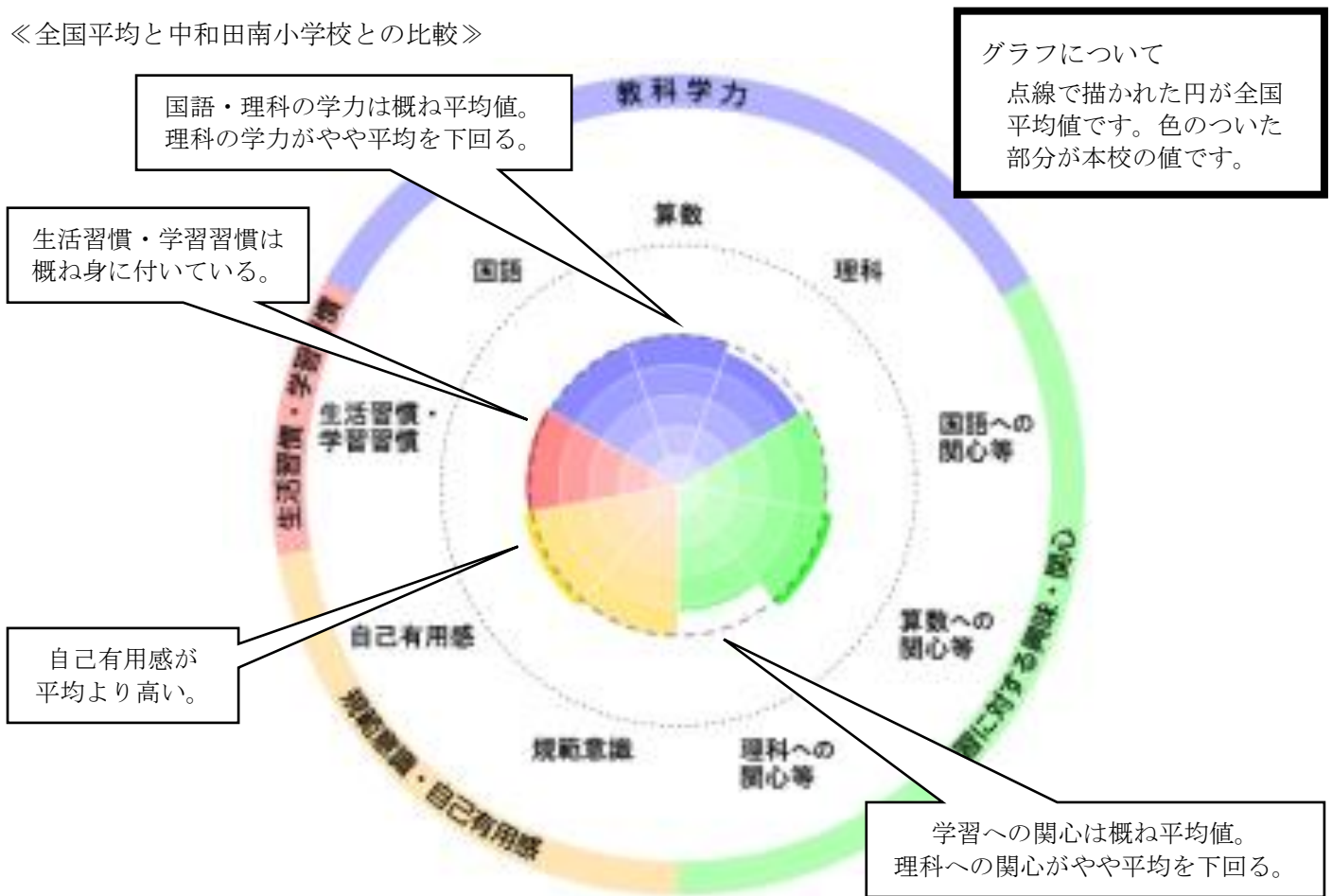
◆自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。

<「地球」を柱とする領域>

◇観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる

◇よい状況と考えられる内容 ◆指導・改善が必要と考えられる内容

《全国平均と中和田南小学校との比較》



《本校の分析と今後の具体的取組》

○国語科

本校の重点研究のテーマである「自分の考えをもち、伝え合う」を生かし、国語では言語での伝え合いを大切にして指導を行い、一定の成果が出ていると考えられる。引き続き、児童一人ひとりがしっかりと自分の考えをもち、主体的に伝え合う場面を増やせるように、指導を工夫していく。

○算数科

朝のスキルタイムの設定や、少人数教室による指導などにより、基本的な学習内容が身に付いていると考えられる。また、できたことを賞賛する声かけや個に応じた支援方法の工夫により、算数への関心が高い結果が出ている。引き続き、丁寧に基本的な学習内容の習得を目指すとともに、低・中学年においても必要に応じたチームティーチングや少人数指導などの検討を図っていく。

○理科

理科においては学力・関心ともに全国平均を下回る結果となっている。どの単元においても、十分な実験・観察の時間を確保し、実感を伴った理解ができるように指導を行っていく。また、理科支援員の補助、理科室の器具の整備などをさらに充実させ、できる限り個別に実験できる体制を整えていく。

○学校生活全般

児童一人ひとりのよさを認め、肯定的な声かけを増やすことにより、自己有用感が高まっている様子が見られる。今度も、授業や行事、児童会活動などの様々な場面で前向きな声かけを行うことで一人ひとりが自信をもって学校生活を送れるように支援していく。また、学級担任だけでなく、専科や児童指導専任など多くの職員で子どもたちを見ていけるような、組織的な体制を継続してつくっていく。